

2月

新着本の紹介

青字は児童書

2月に図書室に仲間入りした図書です。ぜひ、ご利用ください。

	<p>【かなたの子】 角田 光代/著 請求記号9ーカ</p> <p>生れるより先に死んでしまった子に名前などつけてはいけない。過去からの声があなただを異界へといざなう八つの物語。。</p>
	<p>【くちびるに歌を】 中田 永一 /著 請求記号9ーナ</p> <p>拝啓、十五年後の私へ。中学合唱コンクールを目指す彼らの手紙には、誰にも話せない秘密が書かれていた一。読後、かつてない幸福感が訪れる切なくピュアな青春小説。</p>
	<p>【星月夜】 伊集院 静/著 請求記号ーイ</p> <p>東京湾で発見された若い女性と老人の遺体。地を這うような捜査が、遠い昔に見上げた星空の美しくも哀しい記憶を呼び起こす…。社会派推理小説の流れを汲みつつ、高い文学性を湛えた傑作が誕生。</p>
	<p>【下山の思想】 五木 寛之/著 請求記号9ーイ</p> <p>どんなに深い絶望から人もは立ちあがらざるを得ない。「下山」とは諦めの行動でなく新たな山頂に登る前のプロセスだ。成長神話の呪縛を捨て、人間と国の新たな姿を示す画期的思想。</p>
	<p>【刑事の子】 宮部みゆき /著 請求番号9ーミ</p> <p>中学一年生の八木沢順は、刑事である父・道雄が離婚したため東京の下町に引っ越すことに。開発が進むその町で、優しい家政婦のハナとの三人の生活に慣れたころ、奇妙な噂が流れ込む。近くの家で人殺しがあった、と…。そんな噂とともに、バラバラ殺人事件が実際におきてしまう。町が騒然とする中、順のもとに事件の真犯人を知らせる手紙が届く。刑事の子・順は、友人の慎吾とともに捜査に乗り出す。</p>
	<p>【日本（にっぽん）中枢の崩壊】 古賀茂明 /著 請求番号3ーコ</p> <p>福島原発メルトダウンは必然だった…政府閉鎖すら起こる2013年の悪夢とは！？家族の生命を守るため、全日本人必読の書。「日本の裏支配者が誰か教えよう」。経産省の現役幹部が実名で証言。</p>
	<p>【蝸ノ記(ひぐらしのき)】 葉室 麟 /著 請求記号9ーハ</p> <p>鳴く声は、命の燃える音に似て——命を区切られたとき、人は何を思い、いかに生きるのか？豊後・羽根藩の奥祐筆・檀野庄三郎は、城内で刃傷沙汰に及んだ末、からくも切腹を免れ、家老により向山村に幽閉中の元郡奉行・戸田秋谷の元へ遣わされる。秋谷は七年前、前藩主の側室と不義密通を犯した廉で、家譜編纂と十年後の切腹を命じられていた。庄三郎には編纂補助と監視、七年前の事件の真相探求の命が課される。だが、向山村に入った庄三郎は秋谷の清廉さに触れ、その無実を信じるようになり……。命を区切られた男の気高く凄絶な覚悟を穏やかな山間の風景の中に謳い上げる、感涙の時代小説！ 第146回直木賞受賞作品</p>

	<p>【かいつソロリはなよめとソロリじょう】 原 ゆたか/著 請求記号 J9-ハ</p> <p>見つけたら懸賞金100億円というお宝を手にいれたソロリ。無事にお宝をとどけ、お城とお嫁さんをゲットできるのか…。カバー裏に「毎讀新聞」を掲載。</p>
	<p>【インド大帝国の冒険 マジック・ツリーハウス 31】 メアリー・ポープ・オズボーン/著 請求番号 J9-オ</p> <p>本の世界に連れていってくれる魔法のツリーハウスで、ジャックとアニーは多くの国へ冒険に出かけていた。ふたりは、世界にたった一つの“バラの形のエメラルド”を手に入れるために、十七世紀のインドへ旅立つ。だがそこには、おそろしいキングコブラが待ちうけていた。</p>
	<p>【たかこ】 清水 真裕/著 請求番号 E-シ</p> <p>ある日、ぼくのクラスに転校生がやってきた。名前は「たかこ」。平安貴族みたいな格好をして、「いと はづかし。」なんて言って、昔のひとみだいた。となりの席の僕は、だんだん仲よくなったけど、みんなと違うたかこをよく思わない子も…。第2回「絵本テキスト募集」において、審査員の満場一致で優秀賞に輝いた本作。「みんなちがっていいんだよ」というメッセージを、あたたかく、そしてユーモラスに伝えます。</p>
	<p>【ぐるんぱのようちえん】 西内ミナミ/さく, 堀内誠一/え/著 請求記号 E-二</p> <p>とっても大きなゾウのぐるんぱは、行く先々で、とてつもなく大きなものばかり作って失敗ばかり。でも、最後につくった幼稚園は大成功。子どもたちが大喜びすることうけあいの絵本。</p>
	<p>【邪馬台】 北森鴻 浅野里沙子 /著 請求記号 9-キ</p> <p>蓮丈研究室に舞い込んできた手書きの古書「阿久仁村遺聞」。村の伝説や民話めいた挿話の数々は、鏡のモチーフに彩られつつ奇妙につながりを欠き真意も編まれた目的も不可解だった。明治初期に地図から消えた村、隠蔽された惨殺事件、暗躍する怪人物。那智の推理が、村の来歴と「邪馬台国」の実像を射抜く時、古代から現代まで、歴史の闇を貫く「もう一つの日本史」が現前する。著者の絶筆が、その遺志を継いで遂に完成。</p>
	<p>【砂冥宮】 内田康夫 /著 請求記号 9-B-U</p> <p>文豪・泉鏡花の小説『草迷宮』のモデルになった神奈川県三浦半島の旧家でルポライター浅見光彦が取材をした老人は、「金沢へ行く」と言い残して数日後、歌舞伎の「勸進帳」で知られる石川県「安宅の関」で死体となって発見された。浅見は死の真相に近づくため金沢へ向かうが、老人の足跡は意外な場所で途切れていた…。傑作旅情ミステリー、待望の初文庫化。</p>
	<p>【建礼門院 徳子】 鳥越 碧 /著 請求記号 9-T</p> <p>「あなたがいたから、死ねなかったのです」清盛の娘・徳子が、平家でただ一人生き残ったのは偶然ではなかった。禁忌を恐れず、憎むべき相手を愛してしまった女の懊悩とは一。後白河法皇の強さに惹かれた女の生涯。長編歴史ロマンス。</p>

	<p>【妖異川中島】 西村京太郎 / 著 請求記号9-B-2</p> <p>鎬を削るライバル企業の越後実業と甲州商事。上杉謙信と武田信玄を信奉し、「越後の龍」「甲州の虎」と呼ばれている両社の社長は、互いに後継者問題を抱えていた。そんな折、両社のキーマンの怪死事件が起きる。なんと一人は直江兼統の鎧の中で殺されていた。互いにライバル会社による凶行だと訴えるが…。十津川警部は事件解決の鍵を探るべく戦国時代の歴史を紐解き、そこに思わぬ因縁を見つける。</p>
	<p>【てのひらの父】 大沼紀子 / 著 請求記号9-オ</p> <p>世田谷区、松陰神社前駅から徒歩15分。女性専用の下宿「タマヨハウス」には、年ごろの三人の女が暮らしていた。弁護士を目指す涼子、アパレルのデザイナーとして働く撫子、そして不条理なリストラに遭い、人生にも道にも迷い続ける柊子。幸せでも不幸せでもない日常を過ごしていた彼女たちだが、春の訪れとともに現れた真面目だけが取り柄の臨時管理人の過干渉によって、少しずつそれぞれの「足りない何か」が浮き彫りになっていく。</p>
	<p>【夢の花、咲く】 梶よう子 / 著 請求記号9-カ</p> <p>松本清張賞受賞作の姉妹篇、“朝顔同心”再び登場。植木職人の殺害と、江戸を襲った大地震直後に続く付け火。朝顔栽培が生きがいの興三郎は、無関係に見える2つの事件の裏に潜む真実を暴けるのか…。</p>
	<p>【花いくさ】 鬼塚 忠 / 著 請求記号9-オ</p> <p>深い友情と信頼で結ばれていた花の名手・池坊専好と茶の名人・千利休。ところが、秀吉の怒りを買った利休は、非業の死を遂げる。花をも捨てかけた専好だったが花の力で立ち直った。しかしその後も、専好のまわりの罪なき人たちの命が失われていく。怒りに震える専好に、秀吉への復讐のまたとない機会が訪れる…。池坊専好と千利休感動の歴史ドラマ。</p>
	<p>【まちがい】 辻 仁成 / 著 請求記号9-ツ</p> <p>俺の妻と関係を持ってほしいんだー奇妙な依頼から始まった、友人の妻との関係。間違っていると思いながらも魅了され、深い快感と愛の苦悩に彷徨う…。</p>
	<p>【十津川警部「吉備古代の呪い」】 西村京太郎 / 著 請求記号9-B-2</p> <p>岡山県総社市に住む郷土史家・吉野文彦が東京のホテルで服毒死した。日本古代史研究会に招待されての上京であったが、会の代表者・佐伯は吉野と面識はなく、招待状も出していないという。吉野は“桃太郎・温羅伝説”を題材にした小説「吉備 古代の呪い」を発表し、好評を博していたが…。古代ロマンが生んだ殺人事件の真相に十津川が挑む。</p>
	<p>【十津川警部 友への挽歌】 西村京太郎 / 著 請求記号9-B-2</p> <p>十津川警部の自宅に深夜かかってきた大学時代の友人・永田からの電話は、突然の二発の銃声とともに途切れた。銃声はロシア製のトカレフのものだった。「トカレフを持った殺人鬼」は永田なのか？旧友の安否を気づかう十津川は、北海道、そしてフィリピンへと追跡を続ける。第一人者による長篇トラベル・ミステリー。</p>
	<p>【白鳳の嵐】 町田俊子 / 著 請求記号9-マ</p> <p>大友皇子率いる朝廷軍に戦いを挑む英傑・大海人皇子。だが、大海人に従うのは、わずかな舎人のみ。誰が死に、誰が生き残るのか。新しい時代を掴みとるための彼等の戦いが始まる。</p>